

5. 基本方針、基本目標の設定

近年、水道事業を取り巻く環境は、人口の減少や節水意識、節水機器の普及による一人一日当たりの使用水量の減少に伴う給水収益の減収、あるいは老朽化した施設の更新費用や維持管理費の増大など大きく変化しています。

このような状況においても、「～市民から信頼されつづける水道～」を目指して、水道事業を運営していくことが基本的な使命と考えます。この「～市民から信頼されつづける水道～」を実現するために、厚生労働省の新水道ビジョンで掲げる“安全”、“強靱”、“持続”の3つの観点から『安全供給できる水道』、『非常時にも強靱な水道』、『効率的な事業運営と持続できる水道』を基本目標と位置付け、事業に取り組みます。

＜桶川北本水道企業団の基本方針＞ ～市民から信頼されつづける水道～

常に
信頼を確保するため

1. 安全供給できる水道

非常時にも
信頼を確保するため

2. 非常時にも強靱な水道

事業面・技術面で
信頼を維持するため

3. 効率的な事業運営と持続できる水道

図 5-1. 水道事業ビジョンの基本方針、基本目標

【安全】 安全供給できる水道

健全な水資源の確保や水質管理の徹底に取り組みます。

【強靱】 非常時にも強靱な水道

施設の更新・耐震化や予備水源（能力）を活用した冗長性のある水道システムの構築に取り組みます。

【持続】 効率的な事業運営と持続できる水道

給水サービスの向上や効率的な事業運営を実施し、市民とともに持続できる水道を目指します。

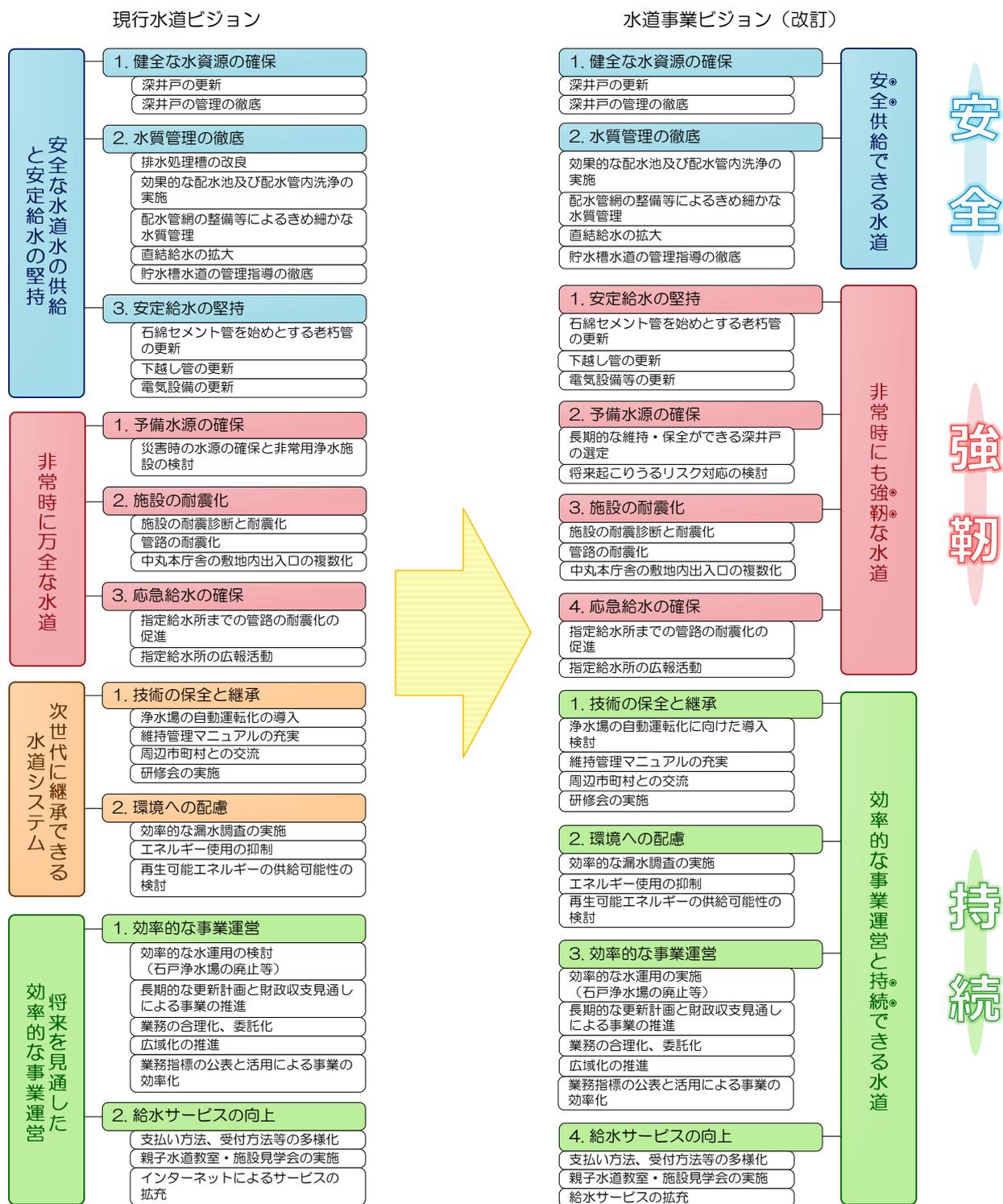


図 5-2. 水道事業ビジョンの施策の体系